

営農技術情報

—畑作（秋まき小麦⑥）—

令和元年 6月21日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 Tel.01654-2-4524

JA道北なよろ Tel.01655-3-2521

JA道北なよろ営農センターTel.01654-3-4307

赤さび病のまん延にご注意ください！

出穂後も雨が少ないため、赤さび病の発生が多い状況です。

今後も少雨で推移すると、止葉まで拡大するおそれがあります。

赤かび病の防除を2回で終了している場合は、赤さび病対策として、さらに1回の追加防除を実施するとともに、7月以降も発生が続く場合は、「チルト乳剤」等での防除を実施するようにして下さい。

【防除薬剤例】（登録内容は R1.6.20 現在）

対象病害	薬剤名	系統	希釈倍率	使用時期	使用回数
赤さび病	シルバキュアフロアブル	DMI	2,000倍	収穫7日前	2回以内
	リベロ水和剤	DMI	2,000倍	収穫7日前	3回以内
	チルト乳剤	DMI	1,000～3,000倍	収穫3日前	3回以内

※いずれの薬剤も、赤かび病およびうどんこ病にも登録があります。

気温差が大きい日が続いています。熱中症に留意するとともに、疲労を感じたときは、こまめに休憩を取るようにしましょう。